

原始ブラックホールと宇宙論

(Primordial black holes and cosmology)

原始ブラックホールは、宇宙が誕生してから1秒にも満たない時期に大きな密度の揺らぎを持った領域が重力崩壊を起こすことで作られるブラックホールです。2015年9月にレーザー干渉計重力波検出器LIGOによるブラックホール合体を初めて検出したことにより、我々人類は重力波という新たな観測手段を得ました。これにより原始ブラックホールに関する研究が今後加速していくと予想されます。本講演会では、この原始ブラックホールに関する最先端の研究を、2名の講演者に紹介して頂きます。

「原始ブラックホールの生成とインフレーション宇宙」

郡和範 (高エネルギー加速器研究機構 准教授)

「原始ブラックホールと重力波」

須山輝明 (東京工業大学 准教授)

※講演は状況により、言語が英語となることがあります。

日時：2018年12月11日 (火) 14:00～17:30

場所：早稲田大学 西早稲田キャンパス 61号館 4階 409教室

※参加費無料、事前の申し込み不要、どなたでもご自由に直接会場にお越しください。

※講演終了後、懇親会がございます。ご自由にお参加ください。

主催：早稲田大学 高等研究所

世話人：木村蘭平

問い合わせ：rampei@aoni.waseda.jp

ホームページ

Website

